

**「デザイン×IP スタートアップ15社の実践事例集」の発行について
～デザイン×IPが切り拓くスタートアップの成長戦略～**

特許庁 審査第一部 意匠課

1. 「デザイン×IP スタートアップ15社の実践事例集」の発行

近年、スタートアップにおいても、デザインや知財を事業成長に生かす重要性への認識が高まっています。一方で、「デザインや知財が重要だと言われても、具体的に何から始めればよいかわからない」といった声も少なくありません。そこで特許庁では、実際にデザインと知財を経営や事業成長に生かしている15社の取組をまとめた「デザイン×IP スタートアップ15社の実践事例集」を発行しました。事例集では、デザインを経営や事業戦略に取り入れ、競争力の強化や事業成長につなげている国内スタートアップ15社を取り上げ、意匠権をはじめとする知財権の活用やデザイン経営の実践について紹介しています。

デジタル技術の進展や市場環境の変化に伴い、スタートアップを取り巻く競争環境は大きく変化しています。こうした中、優れた技術やビジネスモデルに加え、顧客体験やブランド価値を生み出すデザインの重要性が高まっています。また、その価値を持続的な競争力へとつなげるためには、知財の活用も

欠かせません。

本事例集では、各社が直面した課題や工夫、知財戦略の考え方を、豊富なビジュアルとともにわかりやすく整理しています。スタートアップの経営者や事業担当者はもちろん、投資家、支援機関、弁理士、デザイナーなど、スタートアップの成長に関わる幅広い方々に参考としていただける内容となっています。15社の実践からは、デザインや知財をどのように事業価値へ結び付けていくのか、そのヒントを得ることができます。

2. デザインがスタートアップの成長を支える

また、デザインは単に製品やサービスの見た目を整えるためのものではなく、企業の競争力やイノベーションを生み出す経営資源として捉えられるようになっていきます。特にスタートアップにおいては、限られた経営資源の中で競争優位性を確立する必要があることから、デザインの果たす役割がますます重要になっています。

こうした考え方は国際的にも共有されています。



https://www.ipu.go.jp/system/design/gaiyo/info/design-ip_jirei.html



事例集では「日中韓デザインフォーラム」の模様も紹介



日本国特許庁（JPO）、中国国家知識産権局（CNIPA）、韓国知的財産処（MOIP）が共同で開催する日中韓デザインフォーラムでは、デザインの活用や知財制度の役割、企業価値向上におけるデザインの重要性などについて継続的な議論が行われています。

デザインは、利用者の課題やニーズを把握し、新たな価値を構想・具体化する活動であり、顧客との接点やブランド体験を創出する重要な役割を担います。その成果は、製品デザインやUI/UX、サービス、ブランドなど様々な形で現れます。そのため、多くの成長企業では、デザインを事業戦略と一体的に推進しています。

本事例集でも、デザインを競争力の源泉と位置付け、新たな価値の創出や市場開拓につなげている企業の取組を数多く紹介しています。

3. 15社の実践事例から見えるデザインと意匠制度活用の可能性

事例集で紹介している企業の多くは、デザインによって生み出された成果を知財として適切に保護し、事業成長に活用しています。知財は単に権利取得のためのものではなく、ブランド形成や模倣対策、投資家や取引先との信頼構築などを支える重要な経営資源として位置付けられています。

知財制度の中でも、意匠制度は、製品の外観だけでなく、画像やGUIなども保護対象としており、デジタルサービスを展開するスタートアップにとっても活用しやすい制度となっています。意匠はデザイン活動の成果の一つであり、意匠制度を活用して保

護することで、自社の独自性の確保や競争優位性の維持・向上につなげることができます。

また、特許庁では、2025年4月から、一定の要件を満たすスタートアップによる実施関連出願について、意匠の早期審査の対象としました*。これにより、スタートアップによる事業展開に応じた迅速な権利取得を後押ししています。

事例集からは、開発、デザイン、知財の担当者が早い段階から連携し、事業戦略と知財戦略を一体的に検討している様子もうかがえます。デザインの創出から知財権による保護、事業展開までを一連の流れとして捉えることは、重要な視点といえます。

* 意匠早期審査・早期審理制度の概要

https://www.jpo.go.jp/system/design/shinsa/soki/isyou_soukisinri.html

4. おわりに

スタートアップの成長を支える原動力は、優れた技術だけではありません。利用者の視点から価値を生み出すデザインと、その価値を守り育てる知財もまた、重要な経営資源です。事例集で紹介した15社は、それぞれ異なる分野で挑戦を続けていますが、デザインと知財を戦略的に活用している点に共通の強みがあります。

本事例集が多くのスタートアップや支援者の皆様に活用され、新たな挑戦や成長のきっかけとなることを期待しています。ぜひ、各社の実践から自社にも取り入れられるヒントを見つけていただければ幸いです。